

# 2021年度 運輸安全マネジメントの取り組み

## 1 輸送の安全に関する基本的な方針(安全方針)

- ・「輸送の安全確保」がバス事業最大の使命であることを深く認識し、社員及び役員・社員一同が安全確保に最善の努力をする事が最大の責務である。
- ・輸送の安全に関する法令・規則を遵守し、社員一人ひとりが確実に励行する。
- ・組織一体となって、安全確保に不断の努力を傾注し、お客様の信頼に応えると共に、地域社会の発展に貢献する。
- ・当社の輸送の安全に関する情報について、積極的に公表する。

## 2 輸送の安全に関する目標(安全目標)及び目標の達成状況、事故に関する統計

(1)2020年度に設定した目標及び目標の達成状況

目標	達成状況
死亡事故0件	達成 死亡事故0件
重大事故0件	達成 重大事故0件
軽微事故件数60%削減	達成 軽微事故2件(有責1件、他責1件)

(2)2021年度に設定する目標

目標
死亡事故0件
重大事故0件
有責事故0件

## 3 輸送の安全に関する重点施策

- (1)全社員の安全意識の向上  
全社員が関係法令、安全管理規程を守り、安全輸送を最優先します。
- (2)安全への投資  
安全輸送への必要な支出や投資を積極的に行います。
- (3)内部監査と改善  
安全輸送への取り組みについて内部監査を行い、必要な改善を行います。
- (4)情報共有の体制づくり  
必要な情報を全社員が共有できる連絡体制を確立します。
- (5)教育・研修  
教育及び研修を体系化し、計画的に実行します。

## 4 輸送の安全に関する計画

- (1)会議
  - ・運行管理者会議(年2回)
  - ・点呼者会議(年2回)
  - ・班長会議(年3回)
- (2)教育・研修
  - ・国土交通省の指導監督指針に沿った安全教育
  - ・ドライブレコーダー映像を用いた運転技能確認(月1回)
  - ・タイヤチェーン脱着研修(年1回)

- (3) 事故防止
  - ・事故防止研修会実施(年1回)
  - ・立哨活動(月1回)
  - ・全社員自家用車のドライブレコーダー取付推進
  - ・全社員適性診断の受診
  - ・ヒヤリハット情報の収集及び分析、展開
- (4) 健康管理
  - 全運転士に対して
    - ・睡眠時無呼吸症候群(SAS)簡易検査実施(3年に1回)
    - ・脳MRIの実施(2年に1回)
  - 全社員に対して
    - ・35歳以上の社員に対して半日人間ドック受診(年1回)
    - ・インフルエンザ予防接種一部負担
    - ・ストレスチェックの実施(年1回)

## 5 輸送の安全に関する投資計画

---

- (1) 安全装備費用…1,512千円
  - ドライブレコーダー装着
  - ドライブレコーダー通信費
  - デジタルタコグラフ保守費用
- (2) 安全研修・教育等費用…648千円
  - ISO39001道路交通安全マネジメントシステム
  - 適性診断
  - 優良運転者費用
  - クレフィール研修
- (3) 健康管理費用…2,167千円
  - 定期健康診断
  - 人間ドック
  - 脳MRI
  - インフルエンザ予防接種
  - ストレスチェック

合計…4,327千円

## 6 輸送の安全に関する内部監査の実施

---

- (1) 毎年1回、1月～2月頃に内部監査を実施します。監査は原則年1回全部門を実施しておりますが、重大クレーム・事故などにより、管理責任者は必要と判断した場合は、臨時に内部監査を実施します。
- (2) 内部監査員は、内部監査の結果を管理責任者及び被監査部門の責任者に報告し、指摘事項に対する改善・是正処置を依頼します。

## 7 輸送の安全に関する指揮命令系統

---

別紙

## 8 安全管理規程

---

別紙

## 9 安全統括管理者

---

石川真次